

既発表成果総リスト

1. 論文

- 荒牧草平. 1997. 「高校間格差の変容過程に関する実証的研究 — 戦後の進学率変動との関連に注目して」『大阪大学教育学年報』第2号: 107-119.
- 原 純輔. 1997. 「戦後日本の階層と階層意識」『行動計量学』24巻1号: 11-19.
- 橋本健二. 1997. 「ジェンダーと階層構造 — 理論内在的セクシズムの問題」『教育社会学研究』第61集: 55-76.
- 林拓也. 1998. 「地位達成における地域間格差と地域移動 — 学歴・初職に対する影響の計量分析 —」『社会学評論』48(3):334-349.
- 今田高俊. 1995. 「戦後五〇年と中間階級の変容」『神奈川大学評論』20号: 72-80.
- 今田高俊. 1995. 「中間分衆の時代」『総合社会保障』33巻9号: 58-63.
- 今田高俊. 1997. 「平等社会の神話」『総合社会保障』35巻7号: 26-32.
- 今田高俊. 1998 (近刊). 「社会階層の新次元 — ポスト物質社会の地位変数」『社会学評論』48巻4号.
- Imada, Takatoshi. 1998. "Japanese Middle Class and Politics after World War II." In H. Michael Hsiao (eds.), *East Asian Middle Classes in Comparative Perspective*, forthcoming.
- Ishida, Hiroshi. 1998. "Educational Credentials and Labour-Market Entry Outcomes in Japan." *From School to Work*, edited by Yossi Shavit and Walter Muller (Oxford: Clarendon Press).
- 石田 浩. 近刊. 「社会移動の国際比較」直井優・藤田英典編『講座社会学 第13巻 階層』東京大学出版会.
- 岩井八郎. 1997. 「女性のライフコースの動態: 日米比較 — 中間報告 —」石原邦雄編『公共利用マイクロデータの活用による家族構造の国際比較研究 — 米国 NSFH 調査データの利用を通して』第7章.
- 岩井八郎. 1998. 「女性のライフコースの動態 — 日米比較研究 —」『京都大学教育学部紀要』第44号, 24-52頁.
- 鹿又伸夫. 1997. 「戦後日本における世代間移動の変動」『行動計量学』24巻1号: 20-27.
- 片岡栄美. 1997. 「家庭の文化的環境と文化的再生産過程および現代日本の文化構造 — 1995年 SSM 全国調査データにみるわが国の文化的再生産過程 —」『関東学院大学文学部紀要』81号:187-237.
- 片瀬一男・阿部晃士. 1997. 「沿岸地域における学歴主義と教育達成」『教育社会学研究』第61集:163-183.
- 荻谷剛彦. 近刊. 「教育・機会と階層 — 平等主義のアイロニー」『講座・現代の教育 第9巻 教育の政治経済学』岩波書店.
- 吉川 徹・轟 亮. 1996. 「学校教育と戦後日本の社会意識の民主化」『教育社会学研究』第58集: 87-101.
- Kikkawa, Toru and Makoto Todoroki. 1998(in press). "School Education and Democratization of Social Consciousness in Postwar Japan", *International Journal of Sociology*, Vol.27, No. 4.
- 吉川 徹. 1998. 『階層・教育と社会意識の形成 — 社会意識論の磁界 —』ミネルヴァ書房.
- 木村好美. 1998(近刊). 「社会階層と自己認識 — 男女の比較を中心に —」『年報人間科学』第19号.
- 近藤博之. 1996. 「地位達成と家族 — キョウダイの教育達成を中心に —」『家族社会学研究』第8:19-31.
- 近藤博之. 1997. 「閾値モデルによる教育達成の分析」『大阪大学教育学年報』第2号: 23-32.
- 近藤博之. 1997. 「教育と社会移動の趨勢」『行動計量学』24巻1号: 28-36.
- 近藤博之. 1997. 「高等教育機会の趨勢 — 1995年 SSM 調査の結果から —」『IDE』No.388: 55-59.
- 宮野 勝. 1997. 「公正観の論理構造」『行動計量学』24巻1号: 48-57.
- 中井美樹. 1998. 「女性の職業階層とライフイベントのタイミング」『立命館大学学術研究助成研究成果報告書』(1).
- 中井美樹. 1998. 「既婚女性の社会階層と文化的活動および文化的環境」『立命館大学学術研究助成研究成果報告書』(2).
- 中村牧子. 1997. 「経験される社会移動 — 現代日本人の閉塞感に迫る」太田省一編著『分析・現代社会 — 制度・身体・物語』八千代出版.
- 中村 隆. 1998. 「調査データの標本誤差評価とブートストラップ法 — 層別確率比例復元2段無作為抽出法の場合 —」『ESTRELA』3月号: 10-17.
- 中西祐子・中村高康・大内裕和. 1997. 「戦後日本の高校間格差成立過程と社会階層 — 1985年 SSM 調査データの分析を通じて —」『教育社会学研究』第60集:61-82.
- 野宮大志郎. 1998. 「差別され続ける女性: 均等法以後の男女の所得格差」『北海道大学文学部紀要』46-2(通巻92号): 65-76.
- 野呂芳明. 1998. 「データの分析: 基礎の基礎」森岡清志編著『ガイドブック社会調査』日本評論社: 199-233.

- 尾嶋史章. 1997. 「誰が教育に支出するのか — 学校外教育支出の分析 —」『大阪経大論集』第48巻第3号: 311-327.
- 盛山和夫. 1996. 「家族か個人か — 階層単位とジェンダー —」『家族社会学研究』第8号:33-45.
- 盛山和夫. 1997. 「階層研究と計量社会学」『行動計量学』第24巻 第1号:1-10.
- Shirahase, Sawako. 1998. "Intergenerational Mobility through Marriage among Women in Japan: A Comparison with the British Society." Pp.261-293 in Proceedings of Conference on Social Stratification and Mobility: Newly Industrializing Economies Compared, International Sociological Association, Research Committee 28.
- Shirakura, Yukio. 1997. "Status Attainment, Lifestyle and Participation in High Cultural Activities: Cultural Reproduction and Lifestyle in Japan." Paper presented at the International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Changing Stratification and Mobility, at Québec (Laval University).
- 白倉幸男. 1997. 「文化的再生産とライフスタイル」『行動計量学』24巻1号: 37-47.
- 白倉幸男. 1998. 「社会階層とライフスタイルおよび生活満足」『大阪大学人間科学部紀要』第24巻.
- 数土直紀. 1998. 「社会的決定ルールの情報の基礎に関する社会学的考察 — 1995年 SSM データを基に —」. 志田基与師編『社会的選択理論の社会学的展開』横浜国立大学.
- 菅野 剛. 1998(近刊). 「社会階層と社会的ネットワーク — 地位の非一貫性と社会移動の効果 —」『年報人間科学』第19号.
- 高田 洋. 1998(近刊). 「職業のライフスタイル=イメージ」『年報人間科学』第19号.
- 田中重人. 1996. 「戦後日本における性別分業の動態 — 女性の職場進出と二重の障壁 —」『家族社会学研究』第8号: 151-161.
- 田中重人. 1997. 「高学歴化と性別分業: 女性のフルタイム継続就業に対する学校教育の効果」『社会学評論』48巻2号: 130-142.
- 粒来香・佐藤俊樹. 1995. 「戦間期日本における職業と学歴」『教育社会学研究』第56集: 81-98.

2. 学会等報告

- 阿部晃士. 1997年11月. 「『学歴による不公平感』の発現メカニズム」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- 阿形健司. 1997年10月. 「職業資格の分析 — SSM95データから —」第47回日本教育社会学会大会 (千葉大学).
- 元治恵子. 1997年3月. 「職業評価における職業に関する情報量の影響 — 配偶者の職業による評価の差 —」第23回数理社会学会大会 (東京大学).
- 元治恵子. 1997年11月. 「職業評価における性差」第24回数理社会学会大会 (流通経済大学).
- 原 純輔. 1996年11月. 「戦後日本の階層と階層意識」第69回日本社会学会大会 (琉球大学).
- Hara, Junsuke. August 1997. "Class and Class Consciousness in Postwar Japan." International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Changing Stratification and Mobility, at Québec (Université Laval).
- 原 純輔. 1997年11月. 「産業化と階層意識」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- Hara, Junsuke. January 1998. "The Invariant Structure of Class Consciousness in Postwar Japan." International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Social Stratification and Mobility, at Taipei (Academia Sinica).
- Imada, Takatoshi. August 1997. "Industrialization and the Regime of Social Mobility in Postwar Japan: 1955-1995." ISA Research Committee 28 Summer Conference on Social Stratification and Mobility, Université Laval, Québec.
- 今田高俊. 1997年11月. 「戦後日本における社会移動レジームとその融解」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- Imada, Takatoshi. January 1998. "Divided Middle Mass and Quality-of-Life Politics: Middle Class in Postmaterial Society." The meeting of the Working Group on Middle Class in the 21st Century, Paris.
- 岩井八郎. 1997年7月. 「女性のライフコースの動態 — NSFH (米国)とSSM (日本)のデータから」第7回日本家族社会学会.
- 岩井八郎. 1997年10月. 「女性の高学歴化とライフコース — SSM 調査と全米家族調査に基づく日米比較研究 —」第49回日本教育社会学会 (千葉大学).
- 岩澤美帆. 1997年11月. 「出生力に対する世代間階層移動効果」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- Kariya, Takehiko. January 1998. "Japan's Postwar Experiences in Education and Labor Market: Rapidity of Social Changes and Institutional Arrangement in Youth Labor Market." 12th International Symposium, "Japan in a Comparative Perspective," International Research Center for Japanese Studies, 12-17 January, 1998, at Kyoto.

- 冠野 文・粒来 香. 1997年10月. 「世代間ギャップの所在 — 95年 SSM 調査の分析から — 」第49回日本教育社会学会 (千葉大学).
- 鹿又伸夫. 1997年7月. 「階級・階層と所得格差 — 1955~1995年 SSM 全国調査のデータ分析 — 」第45回北海道社会学会大会.
- 鹿又伸夫. 1997年9月. 「資産格差の形成メカニズム」第25回日本行動計量学会シンポジウム「現代日本の社会構造を探る — 社会学と行動計量学との対話 — 」.
- 片岡栄美. 1997年10月. 「現代日本におけるメリトクラシーの構造 — 1995年 SSM 調査による学歴達成過程の分析を中心に — 」第49回日本教育社会学会大会 (千葉大学).
- 片岡栄美. 1997年11月. 「現代日本における社会階層と文化資本の再生産 — 1995年 S S M全国調査にみる文化の階層性と文化的再生産 — 」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- 吉川 徹. 1997年9月. 「階層帰属意識の規定要因の時系列変容」第25回日本行動計量学会シンポジウム「現代日本の社会構造を探る — 社会学と行動計量学の対話 — 」(仙台戦災復興記念館).
- 木村好美. 1997年5月. 「社会階層と自己認識 — 自己実現と社会参加・加齢・地位達成 — 」第48回関西社会学会大会 (金城学院大学).
- 木村好美. 1997年11月. 「社会構造と自己肯定意識 — 男女の比較を中心に — 」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- 小林久高. 1997年9月. 「社会階層と政治イデオロギー」第25回行動計量学会 (仙台戦災復興記念館).
- 近藤博之. 1996年10月. 「閾値モデルによる教育達成の分析」第48回日本教育社会学会大会 (九州大学).
- 近藤博之. 1996年11月. 「教育と社会移動の趨勢 — 1995年 SSM 全国調査からの報告 — 」第69回日本社会学会大会 (琉球大学).
- 近藤博之. 1997年9月. 「社会移動の制度化と限界 — 出身・教育・到達の3次元クロス表の分析 — 」第25回日本行動計量学会大会シンポジウム「現代日本の社会構造を探る — 社会学と行動計量学との対話」(仙台戦災復興記念館).
- Kondo, Hiroyuki. August 1997. "Education and Social Mobility in Postwar Japan." International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Changing Stratification and Mobility, at Québec (Université Laval).
- Kosaka, Kenji. January 1998. "Strata in Strata." International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Social Stratification and Mobility, at Taipei (Aademia Sinica).
- 三隅一人. 1997年7月. 「SSMにおける地域の視点について」第93回日本社会分析学会大会 (北九州大学).
- 三隅一人. 1997年12月. 「地方出身者の地位達成過程 — 1995年 SSM からの報告」第94回日本社会分析学会大会 (九州大学).
- 村瀬洋一. 1997年3月. 「職業威信スコアの規定因に関する S S M調査データの分析 — 従業先規模の影響を中心に — 」第23回数理社会学会大会 (東京大学).
- 村瀬洋一. 1997年11月. 「政治的影響力の階層間格差 — S S M調査データの分析」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- 村瀬洋一. 1998年3月. 「新職業威信スコアの有効性 — 従業先規模を考慮した新スコアによる分析の効果」第25回数理社会学会大会 (関西学院大学).
- 中井美樹. 1997年11月. 「女性の職業階層とライフスタイル — 準専門職女性のライフイベント」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- Ojima, Fumiaki. August 1997. "Inequality of Educational Opportunity in Japan: How Gender and Class Produced Educational Inequality?" International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Changing Stratification and Mobility, (Laval University, Québec City, Canada).
- 尾嶋史章. 1997年10月. 「女性の性役割意識の変動とその要因」第49回日本教育社会学会大会 (千葉大学).
- 大前敦巳. 1997年10月. 「教育関連意識の構造 — 1995年 SSM 調査結果の分析を通して」第49回日本教育社会学会大会 (千葉大学).
- 大内裕和. 1997年10月. 「戦後社会における出身階層・家族と教育達成」第49回日本教育社会学会大会 (千葉大学).
- 大内裕和・中西祐子・中村高康・橋本健二・菊谷剛彦. 1996年10月. 「高校から見た戦後日本の階層構造」第48回日本教育社会学会大会 (九州大学).
- 桜間 真. 1997年5月. 「夫の家事参加の規定要因に関する計量的分析」第48回関西社会学会大会 (金城学院大学).
- 桜間 真. 1997年11月. 「ライフスタイルと資産効果」第70回日本社会学会大会 (千葉大学).
- 佐藤俊樹. 1997年9月. 「世代別にみた職業再生産の変遷 — 移動表と社会的概念の間 — 」第25回日本行動計量学会大会 (東北大学).

- 盛山和夫. 1995年9月. 「ジェンダー・家族・階層 — 女性の社会的地位をめぐる — 」第5回日本家族社会学大会(淑徳大学).
- 盛山和夫. 1996年11月. 「女性の階層とキャリア — 1985年から1995年への変化」第69回日本社会学大会(琉球大学).
- Seiyama, Kazuo. 1997年8月. "Trends of Educational Attainment and Labor Force Participation among Japanese Women." ISA Research Committee 28 Conference on Changing Stratification and Mobility, at Québec (Université Laval).
- 盛山和夫. 1997年9月. 「階層構造・階層意識の変化と政治意識の動向」日本社会心理学会第38回大会(立教大学).
- 盛山和夫. 1997年11月. 「市場・家族と女性の機会の変化」第70回日本社会学大会(千葉大学).
- Seiyama, Kazuo. 1998年1月. "Gender Difference in Status Identification of Married Women and Men in Japan." ISA Research Committee 28 Conference on Social Stratification and Mobility, at Taipei (Academia Sinica).
- 白波瀬佐和子. 1997年11月. 「階級構造と女性の地位決定 — 英国との比較を通して — 」第70回日本社会学大会(千葉大学).
- 白倉幸男. 1996年11月. 「階層文化とライフスタイル」第69回日本社会学大会(琉球大学).
- Shirakura, Yukio. August 1997. "Status Attainment, Lifestyle and Participation in High Cultural Activities: Cultural Reproduction and Lifestyle in Japan." International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Changing Stratification and Mobility, at Québec (Laval University).
- 白倉幸男. 1997年11月. 「現代の社会階層における自営業の位置」第70回日本社会学大会(千葉大学).
- 数土直紀. 1997年3月. 「学歴が階層意識に与える影響とその性差」第23回数理社会学大会(東京大学).
- 菅野 剛. 1997年5月. 「社会階層と交際 — 地位の非一貫性と社会移動の効果 — 」第48回関西社会学大会(金城学院大学).
- 菅野 剛. 1997年11月. 「労働者階級の社会的交際とライフスタイル — 75年~95年の比較から — 」第70回日本社会学大会(千葉大学).
- 高田 洋. 1997年5月. 「生活価値と職業階級」第48回関西社会学大会(金城学院大学).
- 高田 洋. 1997年11月. 「豊かさの基準とライフスタイル」第70回日本社会学大会(千葉大学).
- 高橋和子. 1997年9月. 「自然言語処理によるSSM職業コーディング・システムについて」第25回日本行動計量学会大会(仙台市戦災復興記念館).
- 田中重人. 1997年3月. 「性別職域分離と女性のフルタイム継続就業」第23回数理社会学大会(東京大学).
- 田中重人. 1997年7月. 「性別分業の変動論: マルクス主義フェミニズム vs. 合理主義経済学」第7回日本家族社会学大会(早稲田大学).
- 田中重人. 1997年10月. 「性別分業と職域分離の力学: 職業経歴データの分析から」少子化問題研究会「女子労働と出生力」小委員会(国立社会保障・人口問題研究所).
- 田中重人. 1997年11月. 「職域分離の力学: 女性のホワイトカラー化がもたらしたもの」第70回日本社会学大会(千葉大学).
- 太郎丸 博. 1997年3月. 「多次元尺度構成法による職業威信評定パターンの検討」第23回数理社会学大会(東京大学)オープン・セッション.
- 太郎丸 博. 1997年. 「多次元尺度構成法による職業威信評定パターンの検討」『第48回関西社会学大会報告要旨』pp. 50-51.
- 太郎丸 博. 1998年3月. 「職業評定の一致度と間主観的階層構造」第25回数理社会学大会(関西学院大学総合政策学部).
- 都築一治. 1997年9月. 「職業評価の構造と職業威信スコア」第25回日本行動計量学会大会シンポジウム「現代日本の社会構造を探る — 社会学と行動計量学の対話 — 」(仙台市戦災復興記念館).
- 都築一治. 1997年11月. 「職業威信スコア構成プロセスの意味」第24回数理社会学大会(流通経済大学).
- Umino, Michio. August 1997. "A Sense of Fairness in Modern Japan: An Evaluation of Stratification System." International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Changing Stratification and Mobility, at Québec (Université Laval).
- 海野道郎. 1997年11月. 「不公平感の個人的意味」第70回日本社会学大会(千葉大学).
- Umino, Michio. January 1998. "What Does the Evaluation of Stratification System Cause?: A Sense of Fairness, Satisfaction, and Political Attitude in Modern Japan." International Sociological Association Research Committee 28 Conference on Changing Stratification and Mobility, at Taipei (Academia Sinica).
- 安田 雪. 1998年3月. 「Social Capital としてのネットワーク」日本行動計量学会・数理社会学会共催シンポジウム(甲南大学).
- 米澤彰純. 1997年10月. 「文化活動を担う人々 — 市場からのアプローチ — 」第49回日本教育社会学大会(千葉大学).